

公益社団法人日本テニス事業協会主催及び共催開催

PLAY&STAY研修会 報告書



公益社団法人 **日本テニス事業協会**

公益社団法人日本テニス事業協会主催のPLAY+STAY研修会実施状況 概要

■第4回コーチステップアップアカデミー

日時:平成24年5月10日(木)
場所:(公財)吉田記念テニス研修センター
講師:菅澤繁美氏 他、TTCスタッフ
内容:PLAY+STAYの基本理念、オンコート指導例 等
参加者数:71名

P.4～

■第6回コーチステップアップアカデミー

日時:平成24年9月12日(水)
場所:(公財)吉田記念テニス研修センター
講師:菅澤繁美氏 他、TTCスタッフ
内容:PLAY+STAYの基本理念、オンコート指導例 等
参加者数:50名

P.9～

■2012キッズ&ジュニアテニスカーニバル

日時:平成24年10月20日(土)
場所:有明コロシアム
講師:溝口 美貴氏
内容:PLAY+STAYのオンコート指導例 等
参加者数:15名程度

P.13～

■第8回コーチステップアップアカデミー

日時:平成24年12月5日(水)
場所:(公社)日本テニス事業協会 会議室
内容:PLAY+STAY導入事例紹介、情報交換 等
参加者数:34名

P.15～

■第9回コーチステップアップアカデミー

日時:平成25年1月21日(月)
場所:レックインドアテニススクール上石神井
講師:神谷 勝則氏
内容:PLAY+STAYのオンコート指導例 等
参加者数:67名

P.17～

各地域テニス事業協会主催のPLAY+STAY研修会実施状況 概要

■埼玉県テニス事業協会 主催 平成24年度管理者指導研修会

日時:平成24年9月30日(日)
場所:シンポウテニスリゾート
講師:古澤貴子氏・古谷健司氏(TTCスタッフ)
内容: PLAY+STAYの基本理念、オンコート指導例 等
参加者数:23名

P.21～

■北海道テニス事業協会 主催 平成24年度第2回テニス事業活性化セミナー 「現場のPLAY+STAY」

日時:平成24年11月2日(金)
場所:ウイング札幌ウエスト校
講師:菅澤繁美氏(TTCスタッフ)
内容: PLAY+STAYの基本理念、オンコート指導例 等
参加者数:39名

P.22～

■近畿テニス事業協会 主催 平成24年度 指導者講習会 「PLAY+STAYプログラムの実践方法と その効果について」

日時:平成25年3月3日(日)
場所:ノア・インドアステージ宝塚
講師:藤本幸久氏(ノアインドアステージ(株))
内容: PLAY+STAYのオンコート指導例 等
参加者数:15名

P.23～

合計参加者数:314名

研修会 詳細内容①

■第4回コーチステップアップアカデミー

日時 : 平成24年5月10日(木) 12:30~18:30
場所 : (公財)吉田記念テニス研修センター
講師 : 菅澤繁美氏 他、TTCスタッフ
内容 : PLAY+STAYの基本理念、オンコート指導例 等
参加者数: 71名

【スケジュール】

12:30-14:30	@セミナールーム	内容: PLAY+STAYについて、基本理念etc
14:30-16:30	@オンコート	内容: レッド・オレンジボール指導例紹介 各ボールでの体験・試打会
16:30-17:30	@オンコートレッスン	内容: 館内見学とレッスン見学
17:30-18:30	@セミナールーム	内容: 質疑応答 (途中より引き続きレッスン見学も可能)



■第4回コーチステップアップアカデミー

【事前アンケート】 回収事業所数 : 39事業所 内訳: 導入済み19事業所
未導入(予定あり).....18事業所
未導入(予定なし)..... 2事業所

質問: PLAY+STAYを導入後に感じていること、不安、悩み、メリットなど教えてください。

【メリット】(回答抜粋)

- ラリーが以前よりも続くようになった。
- コートサイズ、ボールを変える事により、ラリーやゲームの楽しさが伝えやすくなった。
- 振り抜いて打つことを覚えやすい。
- 子供達がとても楽しそうにテニスをしてくれる。
- 運動量が増え、笑顔も増えた。
- ストロークだけでなく、ボレーやスマッシュにも興味をもってくれるようになった。
- 試合が楽しく出来て、上達がはやい。
- あらゆるレベルに合わせた指導がやりやすい。
- どうすればポイントを取れるか自分で考えるようになること。
- 子供達の手首・肘への負担が少ない。
- 安全面が楽になった。

【不安・悩み】(回答抜粋)

- 親御さんから見て、テニスを教えていないように見られてしまうこと。
- ボールの特性に合わせたドリルメニュー。
- 出来ない子に対するの対処方法。
- オレンジボールやグリーンボールに慣れてしまうこと。
- 最低限のフォーム的な指導と自発的な考えを持たせるレッスンの比率・構成が難しく、コーチによって差の出やすい内容になると思う。
- 初心者が使うボールと思われやすく、使いたがらない方が多い。
- ボールの区別はつけているが、コートの大きさや指導方法などは統一されていない。
- グリーンボール導入の必要性はどのくらいあるのか。
- ボールによって求めるテニスの技術をどこまでにするのか。
- オレンジボールとレッドボールのレベル別を線引きする目安。
- コートの有効な使い方があるのか。
- 手出しによるメニューとラケットによる球出しのメニューを見たい。



■第4回コーチステップアップアカデミー 【事前アンケート】②

質問. PLAY+STAYを導入されていない理由を教えてください。

- 指導方法を理解していない、学んでいない。・・・9名
- キャリアのあるコーチに対してPLAY+STAYを理解してもらうことや、今までやってきたレッスンを変える事への不満など。・・・2名
- アウトドアでの仕切りネット等が無い場合のコートの使い方やレッスンの仕方が分からない。
- 準備に時間が掛かることや、外では風の影響を受けやすいため。
- レッスンメニューを各担当コーチに任せている形態のため、統一して行う事は難しい。
- 現行のクラス編成の変更、スタッフ教育等、スムーズに移行できるのか不安。
- ティーチングとコーチングを理解出来るコーチが少ない。



■第4回コーチステップアップアカデミー

【講習参加後アンケート】 回収数 : 67名 内訳: 男性 61名
女性 6名

質問. 導入済スクールが改めて感じたこと、今までと考えが変わったことは何ですか？

【レッスン内容について】(回答抜粋)

- レッスンドリルをもっとたくさん応用できることが勉強になった。
- ゲームに則した技術、コーチの遊び心、子供達にどんどんトライさせる柔軟性が必要だと感じた。
- ボール、コートを使い方がよく理解できた。
- ラリードリルの内容や進め方が理解できた。
- 具体的なレッスンメニューを見ることができた。
- ドリルの中での「設定」を増やした練習を取り入れようと思った。
- ゲームアプローチの導入により、多くのショット、戦術が学べる。子供達がいろいろ考えてプレイをする様子がはっきり見える。
- もっと子供達同士のラリーを増やしていけると感じた。
- イエローテープの使い方やレッド・オレンジ、各ステージでの技術の目安など理解できた。

【考えが変わったこと・感じたこと】(回答抜粋)

- コーチとしての経験をつみ、PLAY+STAYレッスンを完成できるコーチになりたいと感じた。
- 子供達の能力は素晴らしい。レッスンをしている私たちが制限をしているということが分かった。
- 子供達が常に動いていると感じた。
- 子供達が楽しくテニスをしていた。PLAY+STAYを実際に見れてとても参考になった。
- PLAY+STAYについて明確になった。これから自事業所の中で問題を解決していきたい
- 本質を今まで詳しく知らなかったので、より一層レッスンで頭をフル活用していきたい。
- ベテランコーチへの意思の統一の仕方も教えていただいたので、現場でさっそく取り入れたい。
- 難しい練習も少しずつ積み重ねていけばできるようになることに気付いた。
- メニューを考える際に、これはまだ無理だろうと考えすぎていると思った。考えにとらわれない内容を実施していこうと思う。
- やはり、聞くだけでなく、実際に体験したりレッスンを見てみてPLAY+STAYの素晴らしさを改めて感じた。指導者の知識・理解が必要だと思う。
- ゲームにおいていかにしてポイントを取るか、ゲームを楽しむということが大切だと感じた。
- 今までティーチングばかりの内容だったので、コーチングできるようにしたい。
- PLAY+STAYの重要性を子供達や保護者にどのように理解してもらえばいいかが理解できた。またコーチの共通認識がとても大切だと感じた。



■第4回コーチステップアップアカデミー 【講習参加後アンケート】②

質問. 未導入スクールが今後導入するにあたっての課題、今までと考えが変わったことは何ですか？(回答抜粋)

- スタッフに今までと違う形で指導法を伝えなければいけないので、根気と時間が必要。
- スタッフでの意識・技術の共有。
- 知識不足なため、より勉強が必要。
- ティーチングとコーチングの違いを理解、実施すること。
- 保護者への説明が出来るかどうか。
- キャリアのあるコーチへの説明。
- 用具を揃えること。

質問. PLAY+STAYを日本で普及させるためには何が必要だと思いますか？(回答抜粋)

- コーチの理解と保護者の理解。
- 今回のような講習会・勉強会などの学べる機会。
- 大会の開催。
- 個人ではなく、テニス界全体で動くこと。
- PLAY+STAYのコーチング資格やライセンス。
- メディアへの露出。
- 指導者の柔軟な発想力と行動力。



研修会 詳細内容②

■第6回コーチステップアップアカデミー

日時 : 平成24年9月12日(水)12:30~18:30
場所 : (公財)吉田記念テニス研修センター
講師 : 菅澤繁美氏 他、TTCスタッフ
内容 : PLAY+STAYの基本理念、オンコート指導例 等
参加者数:50名

【スケジュール】

12:30-15:30	@セミナールーム	内容: PLAY+STAYの基本理念、アンケートの返答etc
15:30-16:30	@オンコート	内容: オレンジ・グリーンボール指導法、ドリルメニューの紹介
16:30-18:00	@オンコート	内容: レッスン見学
18:00-18:30	@セミナールーム	内容: 質疑応答



第6回コーチステップアップアカデミー

【講習参加後アンケート】 回収数 : 42名 内訳: 男性 40名
女性 2名

■今までに複数回PLAY+STAYの研修を受けられた方

質問: 今回のアカデミーに参加されて、改めて感じたこと、得られたものはありますか？(回答抜粋)

- レベルアップクラス(グリーン)の選手のアイディアの多さを見ることができてよかった。
- 自分のレッスンでもラリーやポイント中心で続けていこうと思う。
- TTCはコーチの質がとても高いのと、子供たちがとても楽しそうにやっているのが印象的。
- ティーチングではなくコーチング、コミュニケーション能力向上を目指してやる。
- 環境を与えるというイメージだったが、モチベーションの方向性を変更するような言葉がけを行い、「導き出すこと」を行うものであると改めて感じた。
- 改めて子供たち同士で打ち合うことの重要性を感じた。子供たちがラリーをし、考えさせることにより成長していくことの大切さを感じた。
- 自分たちが行っているPLAY+STAYの方向性が合っていると再確認できた。
- 子ども、保護者へのコミュニケーションツール等を感じることができた。
- 基本(バイオメカニクス)的な知識の勉強も必要だと感じた。
- 子どもの動き(レッスン全体に活気がある)
- コーチの育成が大切。
- 子供たちとのコミュニケーション手段や方法、ボールだしの中にゲーム性が入ったドリルなど、参考になり自分のレッスンに活かしていきたい。
- 耳で聞くよりも実際にレッスンを見てPLAY+STAYを感じることができた。
- 理解してもらうために、逆に難しい状況のドリルをして考えさせる。
- ラリーをつなげること、どうやったらポイントを取れるか、テニス＝ゲームという考え方、ゲームを楽しませることを意識しなければと改めて感じた。
- TTCジュニアの集中力に驚いた。
- オンコートでドリルの体験ができたことでとても分かりやすかった。
- 導入後の子どもたちがどのようになっているかを見ることができ自信をもって指導できる。
- PLAY+STAYの原点を学び、コーチングの原点を見つめなおす良い場になった。
- PLAY+STAY導入の意味と必要性を感じた。まだまだ、自店でやっている内容が浅いので、1つ1つのプログラムの意味を持たせ、子どもたちに伝えていく必要がある。
- PLAY+STAYが普及だけでなく、強化にもつながっていることをあらためて感じた。



第6回コーチステップアップアカデミー 【講習参加後アンケート】②

■今回初めてPLAY+STAYの研修を受けられた方

質問: アカデミーを受講されて、受講する前と考え方が変わったことはありますか？また、得られたことはありますか？(回答抜粋)

- ラリーベースでのレッスンで技術的なテクニックが身に着くか疑問だったが、状況を作り分析をし、コミュニケーションをとることで子供たち自身が考え、「勝つすべ」を覚えることは可能だと感じた。
- PLAY+STAYは普及に有効というイメージが強かったが、強化・育成にも十分に有効だと感じた。
- Kクラスからレッスンをみて、レベルアップクラスのジュニアのショットの多彩さ、判断の早さなど、ステップアップの段階を見ることができて勉強になった。
- ゲーム、ラリー(オープンスキル)からの技術練習(クローズスキル)がまだ、形に偏りすぎであり、もっと時間・スペースの意識、つなげる意識の面から指導しなければならないと感じた。
- 「個々の成長に合わせた指導」という言葉が心に残った。より勉強したい。
- PLAY+STAYは、テニスをこれから始める子にとって身長や年齢に合わせた道具・コートを使い非常に重要だと感じた。
- PLAY+STAY本体より、管理者としてスタッフに浸透させるための考え方について、スタッフとミーティングを徹底していたことで、一人一人の意見を拾いながら実施していることが勉強になった。
- コーチがジュニアを引っ張ることが大切だと感じた。
- ラリーをさせて、得点させることで、子供たちのアイデアがたくさんでることをものすごく感じる事ができた。
- コーディネーションとしてボールを使った内容のレッスンのバリエーションが多くとても参考になった。
- 受講するまで「子供たちにゲームを楽しませる」という考えはあったが、どのように楽しませるかは漠然としていた。自分のコーチングのレベルアップと社内に広げていかれたらと思った。
- 「百聞は一見にしかず」でPLAY+STAYの導入が楽しみになった。
- ジュニアのテクニックがすばらしく、ネットプレーが上手なことに感心させられ、PLAY+STAYの成果だと感じた。
- 今回初めて実際の現場を見たが、他の導入スクールも見てみたい。
- コートでの子供たちの楽しそうな笑顔が印象的だった。
- テニスの楽しさをより伝えたいと強く感じた。
- レベルアップクラスで、コーチがジュニアに質問をたくさんしているのがとても印象的。
- 子供たちが非常にまとまって楽しくプレーしているなと感じた。
- 自分は技術→戦術→ゲームという指導をしているので、TTCとの指導の違いに驚いた。
- 自分の考えていた理論と変わらなかったので安心した。
- ラリーの中にゲーム性を導入して今後レッスンしていきたい。
- 収支でプラス効果がでてくるかということ。
- 準備にかなりのコストが必要なのが難点。



第6回コーチステップアップアカデミー 【講習参加後アンケート】③

質問. PLAY+STAYを日本で普及させるためには何が必要だと思いますか？(回答抜粋)

- 売り上げアップの実績
- イベントの開催(大小)
- 協会からスクールへの用具などの提供・サポート
- TV・インターネットなどの活用
- まずは自分が行動を起こす。
- 保護者の理解のために、POP等を作る。
- メディアの利用
- プロ選手からのアプローチ
- PLAY+STAYで育った日本人プロが世界で勝ち上がる実績と結果。
- コーチの「新しいもの」を研究していこうとする意識改革。
- 資格制度。
- アメリカのようなプロの協力のもと動画のアップなど。
- コーチの知識。
- より多くの研修会が安価で受けられる体制。
- 研修会の増加。
- スタッフの理解。
- 年齢による試合で使用するボールの統一。
- 保護者へのアプローチ方法の確立。
- 大会・ランキング制度。
- 若手コーチの育成。(スクール・専門学校)
- PLAY+STAYの導入は「成功事例」であるという結果を出していくこと。
- 多人数でのドリルの発展、発達、開発。
- 利益を上げているスクールのモデルレッスンや方法。
- 常にプレーができる環境(コート面数)が必要。
- 指導者のPLAY+STAYに対する理解の時間。
- コーチが「テニスはゲーム」という意識を持つ、理解する。
- 結果がでるまで続ける。(日本全体のレベルアップ)
- メーカーの協力によるコストダウン。
- ジュニアと事業者の双方がPLAY+STAYを導入することでいい関係が保てる環境をつくっていくことができれば広がる。
- 子供たちはレベルアップのスピードが早くなり、テニス事業者は売上が伸びることがキーポイント。



研修会 詳細内容③

■ 2012キッズ & ジュニアテニスカーニバル

日時 : 平成24年10月20日(土) 15:30～
場所 : 有明コロシアム
講師 : 溝口 美貴氏
内容 : PLAY+STAYのオンコート指導例 等
参加者数: 15名程度

【スケジュール】

15:30～ @オンコート 内容: レッド・オレンジボール指導例紹介



■ 2012キッズ&ジュニアテニスカーニバル
【オンコート写真】



研修会 詳細内容④

■第8回コーチステップアップアカデミー

日時 : 平成24年12月5日(水) 15:00～18:00
場所 : (公社)日本テニス事業協会 会議室
内容 : PLAY+STAY導入事例紹介、情報交換 等
参加者数: 34名

【スケジュール】

15:00—15:10	会長・部会長あいさつ
15:10—16:10	PLAY+STAY導入事例紹介 ①TOPインドアステージ氷川台 ②高田馬場シチズンプラザテニススクール ③ノアインドアステージ宝塚、京都西、南千里
16:10—16:45	参加者の事業所に於ける取り組み状況について各自発表
16:50—17:45	グループに分かれてPLAY+STAYに関して、取り組んできた事例や成功・失敗例についての質疑応答・情報交換
17:45—18:00	グループ毎に発表



第8回コーチステップアップアカデミー

【事前アンケート】 回収人数 : 29人

内訳: 導入済み22人
未導入 5人
不明 1人

質問: PLAY+STAYに関する、悩み・課題・困っていることや不安に思うこと等がございましたらご記入ください。

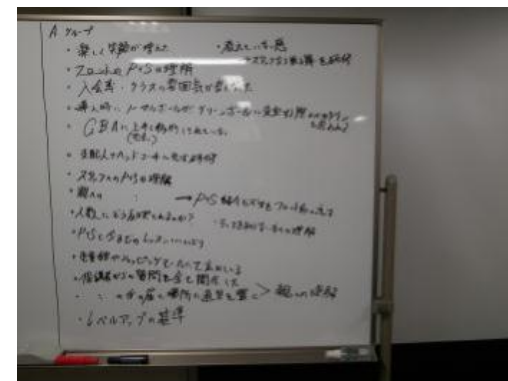
【具体的に知りたいこと】(回答抜粋)

- スタッフへの指導方法。
- 見るポイントやアドバイス、メニューの組み立て。
- テニス有識者以外へのアピール方法。
- 3ヶ月で1期のレッスンスケジュールの考案の仕方。
- 人数が多い場合の(1面に10人以上)ドリルを多く知りたい。
- ボールや使用コートの変更によるジュニア本人たちからの不満に対しての対処。
- 今までのレベルと使用ボールのすりあわせ。(どのレベルならオレンジ・・・)
- 保護者の対応。
- 進級基準、その見極め。
- メニューや「声かけ」のバリエーションを増やしたい。
- 先に導入されている各社の状況をお聞きたい。
- PLAY+STAYを初心者へ活用できるのではないかと思い、その成功事例を聞きたい。



【問題点】(回答抜粋)

- イエローボールを使つてのレッスンを望む保護者が多い。
- スタッフの知識不足。
- フロントできちんと説明できない状況が問題点。
- 保護者の理解。
- 14名1コート50分の中で、1人1人に問いかけ、気づかせる時間がない。
- ベテランコーチへの説明。
- ボールの質により、両手で打たせるのか、片手で打たせるのか判断しにくい。
- レベル差のある多人数に対して経験不足からジュニアとの意志疎通を図るのが難しい。
- シチュエーションの作り方やレパトリー・話の広げ方も少ない。
- 教えていないように見えてしまう。
- アルバイトスタッフへの意識付け。
- コーチのレベル差がでやすい。
- 決まったマニュアルがないのでコーチの判断でレッスンを行っている現状。
- 結局ジュニアに考えさせるのではなく、コーチの思った通りの指導になってしまっている。興味や思考を引き出すことに対する勉強が必要と感じる。



研修会 詳細内容⑤

■第9回コーチステップアップアカデミー

日時 : 平成25年1月21日(月)14:00～17:00
場所 : レックインドアテニススクール上石神井
講師 : 神谷 勝則氏
内容 : PLAY+STAYのオンコート指導例 等
参加者数:67名



第9回コーチステップアップアカデミー

【事前アンケート】 回収人数 : 56人

内訳: 導入済み46人

未導入10人

質問. PLAY+STAYのドリルや実施方法などについて知りたいことがありましたらお聞かせください。(回答抜粋)

- 他のスクールではどのようなドリルを実施しているか見たい。
- 子供達が集中して楽しく上手くなるレッスンを知りたい。
- 上手い子と不得手な子(レベル差がある)がいる時のレッスンを知りたい。
- 大人数でも球数が増やせるレッスン(ドリル)、コートの使い方が知りたい。
- 大人数だと2点での試合になりがちだが、いい試合方法が知りたい。
- ボールの感覚がつかめない子の指導法が知りたい。
- サーブの指導法が知りたい。
- ある程度必要なグリップやフォーム指導の方法・伝えるタイミングを知りたい。
- 簡単な段階別指導法のドリル。
- スクール内で統一性を出すための注意点が知りたい。
- クラス分けを学年(2学年単位)で分けているスクールの場合のレベル対応。
- 面数が少ないスクールでの進級について知りたい。
- 風の強い日に対応出来るドリルや実施方法を知りたい。
- 戦術的・フットワーク的なドリルを知りたい。
- GBAの具体的なドリル、事例が知りたい。
- 進級の見極め(各段階で大切にすることは)
- グリーンボールのドリル内容が知りたい。
- 基本的なドリル・レベルアップした子供への応用ドリルをたくさん知りたい。
- 最近の子供に対しての躰で工夫していることなどあったら知りたい。
- コートを狭く使うことで事故率が上がると予測するが、何人にコーチ何人必要か。
- 3段階のボールを細かく使い分ける価値はどの辺にあるか。
- 幼稚園児から小学生低学年のドリル等を詳しく知りたい。
- 保護者対応について。
- ネットプレーのメニュー。
- ショートラリーからロングラリーへの移行方法。
- これから導入するにあたっての注意点、メニュー、そのバリエーションを知りたい。
- 上達していった時にどのようなことをしていくのか知りたい。



第9回コーチステップアップアカデミー

【講習参加後アンケート】 回収数 : 56名 内訳: 男性 53名
女性 3名

■PLAY&STAYを導入されているスクールの方

質問: 今回のアカデミーに参加されて、得られたことやすぐに活かせることがありましたらお聞かせください。(回答抜粋)

【レッスン内容・構成・指導方法について】

- フォームの指導にこだわらず、ラリー、ゲームを通じ楽しんで上達してもらうこと。
- PLAY&STAYを導入する切り口(説明)のコツがつかめた。
- 初心者の中でも球技が苦手な方にとっても分かりやすく、簡単にテニスができるやり方を教えて頂いた。
- PLAY&STAYで具体的にどのようなメニューでレッスンをしたら良いかという部分でとても分かりやすかった。
- 遊びの中でテニスに導く方法。
- 初心者へのタイミングの指導法。
- ボールを飛ばすという現象をより簡単に分かりやすく伝える方法。
- テニスをゲームとして導くドリル、そして、相手との関わり方を再確認できた。
- ジュニアだけでなく、一般のレッスンにも導入できる内容でよかった。
- ボールの種類や人数等にとらわれないメニュー。
- 初めての方へのストローク、ボレーの導入が分かりやすくよかった。
- 各ショットの力を入れる場所、タイミング。
- 内容をまとめ、ゲームを意識したメニューをもっと作りたいと思った。
- ドリルの背景にある本物の部分を理解して指導していかなければならないことを痛感した。
- ボールを使ったコーディネーショントレーニングの見識が広がった。
- ボレーの腕に力を入れるのではなく、ラケットの面に力を入れるという説明が大変分かりやすかった。
- コーディネーションからテニス技術へのアプローチのヒントを得られた。
- コーディネーショントレーニングとゲームを活かしたレッスンを取り入れたい。
- まず、体の構造からしっかり理解し、自分自身トレーニングもしなければならなかったと感じた。
- コーディネーションの開発がテニスというスポーツにおいて重要なことを再確認できた。
- PLAY&STAYを導入しているが、手順、説明等がよく分からなかったので勉強になった。
- ペアで行うことで、お客様同士の繋がりが広がること。
- コーチが手本として見せないとしっかりついてこないということ。
- テニス人口を増やす意味で、地域での取り組みを検討したい。
- 具体的なドリル方法を見せながらの説明だったので、現場に落としこみやすいものだった。
- コーディネーションの目的を考えながら今後のレッスンに活かす。



第9回コーチステップアップアカデミー 【講習参加後アンケート】②

■PLAY&STAYを導入されていないスクールの方

質問. 今回のアカデミーを受講されて得られたこと、今までと考えが変わったことはありますか？(回答抜粋)

- ボレーの打ち方、グリップに力を入れ過ぎない。
- PLAY&STAYのメニューを実践するために十分時間をかけたいと思う。
- レッスン中にメニューを行う際、ゲーム性を持たせることで、楽しむこと、協力すること、楽しむこと、夢中になることができると感じた。
- 一般、ジュニアともに、レッスンで活かせるメニューだったので、明日から取り入れる。
- コーディネーションの重要性が理解できた。
- もっと楽しくレッスンができるようにと思った。
- 体の事に関する知識がまだ不足している。
- プロコーチとして勉強する、体を作る。
- どうしても「形」にとらわれがち。体で遊ぶ。
- しばられない方法でテニスを楽しく伝える素晴らしさを教えて頂いた。
- 子供にラケットを使わずにボールを使って遊ぶいろいろな方法が学べてよかった。
- 一般の入門クラスでのレッスン手法をかなり変えなくてはならないと思った。
- 型にはめようとして、楽しくない現状はよくないと感じる。
- ボールだけは導入し、どのような工夫が必要なのかわからなかったが、今回の話で真意が理解できた。

■質問. 今後PLAY&STAYに関してどのような研修があれば参加したいと思いますか？

- 各レベルの子供達への伝え方やドリル練習。
- 実際に子供達のデモが見られる様な研修に参加したい。
- 今後も今回のような色々な実践的なメニューの紹介があると参加したい。
- キッズ・年代別(幼稚園児に対しての取り入れ方)ドリル・コーディネーション。
- ドリル、メニュー作成において必要になる「知識」が知りたい(身体、運動能力、機能のことなど)。
- 神谷コーチによる、今回よりさらに発展した内容・継続的な内容。
- PLAY&STAYで育ったプレイヤーがどのような練習メニューを行っていたか知りたい。
- 実際にデモレッスンを受けてみたい。
- サーブについての導入。
- 初めてテニスをする方のイベントに参加したい。
- より具体的に人数対応に特化したドリルを知りたい。
- ゲームの時にどのような戦略が有効かを知りたい。
- 他国の成功例。



研修会 詳細内容⑥

■埼玉県テニス事業協会 主催 平成24年度管理者指導研修会

日時 : 平成24年9月30日(日) 14:00～17:00

場所 : シンポウテニスリゾート

講師 : 古澤貴子氏

公益財団法人吉田記念テニス研修センター ジュニア部門担当・コーディネーター教室担当
(資格)NSCA認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト

古谷健司氏

公益財団法人吉田記念テニス研修センター アダルト・ジュニア部門担当

内容 : 【前半】座学 : 「PLAY+STAYの基本理念、導入からの進め方、考え方」

【後半】オンコート: 「レッド、オレンジボールの指導法、ドリルメニューの紹介」

参加者数: 23名

感想 : 参加者が、体験をして学ぶことが出来ました。講習終了後の質疑応答も活発に行われ、参加者の理解度も上がった様子でした。PLAY&STAYを導入している事業所と、これから導入予定という方が多く、実際に導入にあったての問題点など、大変参考になったと思われます。

研修会 詳細内容⑦

■北海道テニス事業協会 主催 平成24年度第2回テニス事業活性化セミナー「現場のPLAY+STAY」

日時 : 平成24年11月2日(金)13:00～17:00

場所 : ウイング札幌ウエスト校

講師 : 菅澤繁美氏
公益財団法人吉田記念テニス研修センター アダルト・ジュニアプログラムマネージャー
公益財団法人日本テニス協会 PLAY+STAY部会委員

内容 : 【前半】座学 : 「PLAY+STAYの基本理念、導入からの進め方、考え方」

【後半】オンコート: 「レッド、オレンジボールの指導法、ドリルメニューの紹介」

参加者数: 39名

研修会 詳細内容⑧

■近畿テニス事業協会 主催

平成24年度 指導者講習会 「PLAY+STAY プログラムの実践方法とその効果について」

日時 : 日時:平成25年3月3日(日)16:30~20:00

場所 : ノア・インドアステージ宝塚

講師 : 藤本幸久氏(ノアインドアステージ株式会社)
公益財団法人日本テニス協会 普及指導本部 普及推進委員会PLAY+STAY部会員

内容 : 【前半】座学 : 「PLAY+STAYの基本理念」
「ノア・インドアステージ宝塚校の導入後の効果・課題について」

【後半】オンコート: 「ドリルメニューの紹介」

参加者数: 15名